

Real Application Clusters 12c ～研修受講後テスト 解答～**■問題1【RACの構成要素】**

RACを構成するコンポーネントの説明として正しいものを1つ選びなさい。

- データベースはASM上には配置できない。
- Oracle Clusterwareによって、ディスク障害への耐性が向上する。
- インターコネクトはパブリックLAN経由で行われる。
- RAC環境では、インスタンスごとにREDOログ・ファイルとUNDO表領域が存在する。

<テキスト掲載箇所>1-1～1-6

■問題2【RACデータベースへの接続】

RACデータベースへの接続について正しいものを1つ選びなさい。

- SCANリスナーは、scanlistener.oraファイルに定義された情報をもとに起動する。
- SCANリスナーは、同時接続ユーザー数に応じて自動的に数が増減する。
- SCANリスナーは、各インスタンスに関する負荷情報を元にして接続先のノードを決定する。
- SCANリスナーは、DNSサーバーを使わなければ動作しない。

<テキスト掲載箇所>1-7～1-10

■問題3【キャッシュフュージョン】

キャッシュフュージョンについて正しいものを1つ選びなさい。

- キャッシュ・フュージョンはブロックの読取り操作でのみ動作する。
- パストイメージは転送先のバッファ・キャッシュに保持される。
- キャッシュ・フュージョンに必要なブロック情報は共有プールに格納されている。
- ブロック転送を実際に行うプロセスはサーバー・プロセスである。

<テキスト掲載箇所>1-11～1-12

■問題4【Oracle Clusterwareの特徴】

Oracle Clusterwareの特徴について正しいものを1つ選びなさい。

- Oracle Clusterware リソースにはユーザーやオブジェクト（表、索引など）も含まれる。
- CRS デーモンはリソース情報を投票ディスクに記録する。
- OHAS デーモンは障害が発生したリソースのフェイルオーバーを行う。
- GSS デーモンは既存ノードの生存確認を行う。

<テキスト掲載箇所>2-3～2-8

■問題5【CRS リソース管理ユーティリティ】

CRS リソースを管理するユーティリティについて正しいものを1つ選びなさい。

- CRSCTL ユーティリティで CRS リソースの確認を行った際、TARGET と STATE が異なることがある。
- CRSCTL ユーティリティを使用する場合、対象リソースが存在するホストに接続する必要がある。
- SRVCTL ユーティリティだけでなく、lsnrctl、SQL*Plus などのユーティリティを使用してリソースを管理すべきである。
- SRVCTL ユーティリティを使用する場合、対象リソースが存在するホストに接続する必要がある。

<テキスト掲載箇所>2-15~2-18

■問題6【物理ディスク障害に対するバックアップ・リカバリ】

RAC 環境でのバックアップ・リカバリについて正しいものを1つ選びなさい。

- RAC 環境の場合、メディア障害が発生しても、インスタンスは停止しない。
- OCR のバックアップは自動的に行われている。
- 1 つでも正常稼働している投票ディスクがあれば運用を継続できる。
- 片方の OCR が破損した場合、もう片方の OCR が正常であっても Oracle Clusterware は異常終了する。

<テキスト掲載箇所>3-3、3-33~3-34、3-36~3-37

■問題7【ログ・ファイル】

RAC 環境で出力されるログ・ファイルについて正しいものを1つ選びなさい。

- RAC 環境ではデータベースのアラート・ログ・ファイルはマスター・ノードに出力される。
- 診断ログ・ファイルには、Oracle Clusterware のパフォーマンス診断の結果が出力されている。
- 診断ログ・ファイルは、Oracle Clusterware コンポーネントごとに異なるディレクトリ出力される。
- 診断ログ・ファイルはディスク領域を圧迫しないように、一定期間を過ぎると自動的に削除される。

<テキスト掲載箇所>3-11~3-14

■問題8【インスタンス障害】

インスタンス障害時の動作について正しいものを1つ選びなさい。

- インスタンス障害が発生したノードは自動的に停止するため、手動で再起動を行う。
- インスタンス・リカバリではパスト・イメージが使用される。
- インスタンス・リカバリ中であっても、全てのブロックにすぐにアクセスできる。
- パスト・イメージに REDO は適用できない。

<テキスト掲載箇所>3-17~3-20

■問題9【ノード障害とインターコネクト障害】

ノード障害とインターコネクト障害について正しいものを1つ選びなさい。

- 投票ディスクを使用してポーリングする秒数を決定する。
- 投票ディスクに書き込みできていないノードがある場合、ノード障害と判断する。
- 投票ディスクは、他のノードと通信ができなくなると削除される。
- 投票ディスクに書き込みを行ったノードは再起動される。

<テキスト掲載箇所>3-25~3-26

■問題10【チューニング】

RAC 環境におけるチューニングについて正しいものを1つ選びなさい。

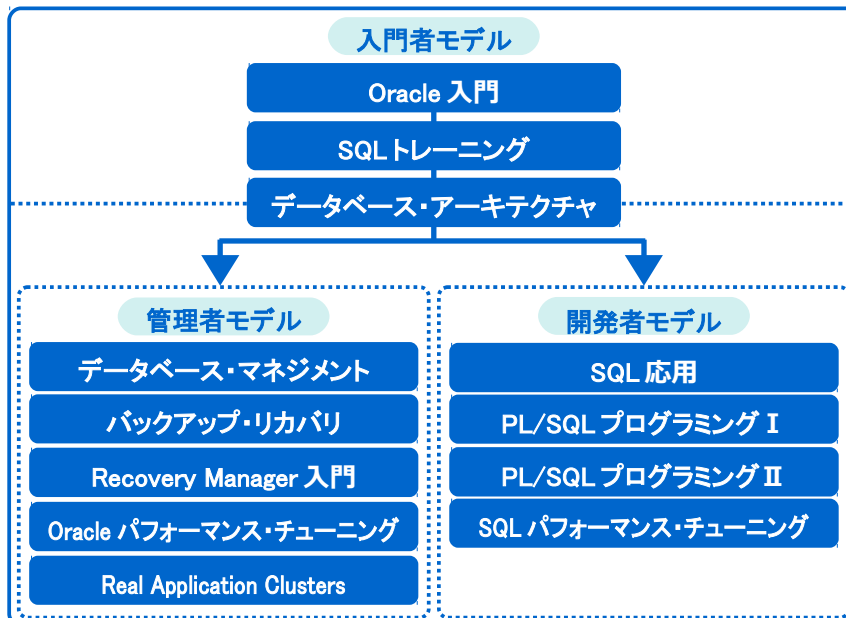
- シングル・インスタンス環境での問題点の多くは、RAC 環境にすることによって解消される傾向にある。
- RAC 環境ではインスタンス間でのブロックを送受信するため、ブロック競合が問題になりやすくなる。
- RAC 環境で最も効果の高いチューニングは、メモリーサイズの拡張である。
- パフォーマンス情報は Oracle Clusterware によって自動的に収集されている。

<テキスト掲載箇所>4-1~4-6

Information

アシスト Oracle 研修内容の詳細については下記ページをご覧ください。
<http://www.ashisuto.co.jp/ojt/course/oracle/>

アシストOracle研修受講モデル



<入門者モデル>

Oracleの基本構造やSQLの基礎構文など、Oracleの全体像を理解できます。新入社員や異動された方など、これからOracleに携わる方にぴったりのモデルです。

<管理者モデル>

管理者として必要な運用管理タスクの理解やバックアップリカバリ、システムチューニングの技術を習得できます。

<開発者モデル>

Oracleを使用した開発に必要なPL/SQLの習得、索引やSQL記述方法などによるSQLチューニング技術を習得できます。

※研修内容についてご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

アシスト教育部：【TEL】0120-874-337 / 【FAX】0120-874-437/ 【E-Mail】edusup_ora@ashisuto.co.jp